

# 多宝会新聞

発行所  
 社会福祉法人多宝会  
 本部事務局広報室  
 福島市本町4-23  
 024-522-6611  
 mail  
 honbu@  
 tahokai.  
 jp

## アリヴァーレ宝生園・ほのぼの宝生園開設20周年



平成14年に市内上名倉に誕生した「特別養護老人ホームアリヴァーレ宝生園」と「グループホームほのぼの宝生園」が、本年7月1日をもって「施設開設20周年」を迎えた。アリヴァーレ宝生園は、県内初となる「個室ユニットケア（個性とプライバシーの尊重を第一とする介護手法）」の導入を皮切りに「心こそ大切な理念のもと、社会の宝たる高齢

者の皆様のご支援と、近隣地域の安心・安全のフォートレスとして歩を進めてきた。開設当時「ユニットケア」という、国の法整備も及ばぬ状況下で、誰もが見ず聞かすの次世代型システムの導入には、真の「人間主義」に立脚したハードとソフトの大改革が求められ、すべての関係者に「前例の打破」と「ゼロからの理解」を、一事業者たる弊会が主導せねばならぬ現実があり、そこには筆舌には尽くせぬ労苦があった。しかし、今ではユニットケア（個別ケア）は当たり前前の世の中となり、産みの苦しみを思い返せば、先駆的達成感ひとしおである。また、ほのぼの宝生園も、当時は珍しい「認知症グ

ループホーム」として開設され、認知症ケアの先駆的な存在として地域に貢献してきた。去る、令和4年7月20日に、開設20周年を寿ぐ記念の式典が開催された。本来であれば、この大切な節目に、ご家族や地域の皆様をご招待申し上げ、盛大に挙行すべきところであり、またそれを願ってきたが、世はコロナ禍の真っ只中であ



り、皆様の生活と生命を守り、皆様の生活を優先し、ささやかながらご利用者と施設関係者で開催した。当日は乗入りの赤飯やマグロの刺身、カニ重ね蒸しなどの「開所記念祝膳」が用意され、ご利用者皆でいただいた。また加藤理事長がユニットに訪問し、ご利用者・職員に向け感謝の意を述べられた。



やその家族、またほのぼの宝生園においては地域の方々を支えられご協力を賜りながら、ご利用者の支援に一生懸命に取り組んで参りました。ここ数年では「新型コロナウイルス感染症」という新しい難題に悩まされ、



現在も新たな大きな波によって毎日、高齢者を守る現場は不安との戦いとなつていきます。しかしながら、20年、ご利用者を守る気持ちの強さに変化はなく「心こそ大切な理念」という基本理念のもと、日々、温かな心をもってご利用者の生活を支えさせて頂いております。これからもより一層、必要とされる施設を目指し、いつでもご利用者のニーズにお応えできるよう努力を重ねて参りたいと考えています」との挨拶があり、次なる10年の発展と長寿を誓い合い、式は結ばれた。

### 永年勤続表彰授与式挙行政

去る8月8日まちなか宝生園こころホールにて「令和4年度永年勤続表彰授与式」が挙行政された。初めに

加藤理事長より「今回表彰授与となった皆様には、ご利用者の命を守るため、紆余曲折しながらも永い間奮闘していただき、心より感謝と御礼を申し上げます」と挨拶があった。その後、代表職員5名に、表彰状等が手渡された。また、各施設においては、パート職員等の授与対象者にも施設長より、お一人おひとりに表彰状等が手渡された。



▶右手前より 土湯宝生園 小野修二様 本部事務局 内山加奈子様 右奥より まちなか宝生園 藤原恒彦様 まちなか宝生園 園舟山雄也様 まちなか宝生園 大槻拓也様

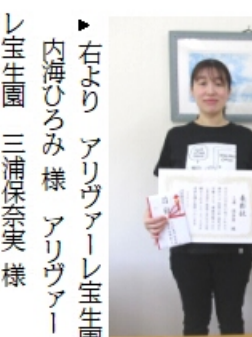
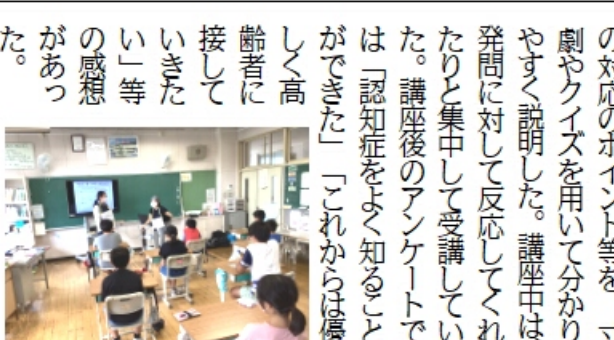
### 令和4年度 第1回苦情解決第三者委員会開催

去る9月15日まちなか宝生園こころホールにて、令和4年度第1回苦情解決第三者委員会が開催された。初めに鈴木専務より「第三者委員のかたから、忌憚なきご意見をいただき、新たな幸福が生まれないようにしていく所存である」と挨拶があった。その後、各事業所から報告があった。第三者委員の皆様からは「コロナ禍のなか、他法人では第三者からの意見が滞っているところもあるが、このように委員会を開催できる



### 認知症サポーター養成講座

去る9月16日に、西部地域包括支援センター保健師半澤清江と同じく保健師藤田真澄が、佐原小学校5、6年生13名と教員1名に認知症サポーター養成講座を行った。高齢者の身体変化や脳の機能、認知症の方への対応のポイント等を、寸劇やクイズを用いて分かりやすく説明した。講座中は、発問に対して反応してくれたりと集中して受講していた。講座後のアンケートでは「認知症をよく知ることができた」「これからは優しく高齢者に接していきたい」「等々の感想があった。



▶土湯宝生園 谷代直栄様  
 ▶右より アリヴァーレ宝生園 内海ひろみ様 アリヴァーレ宝生園 三浦保実様

**ご厚志御礼**  
 乾 公人様  
 この度はご寄付を賜り誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。



施設の話題をいち早くお届けする

# 多宝会 HOT LINE



## 中華フェア2022

シェフを招き「ケアハウス中華フェア2022」を開催しました。エビチリや肉焼売、海老炒飯などの定番メニューや、金目鯛の酒蒸しといった普段はなかなか口にしない品々を、ライブキッチンで調理。五感で存分に楽しめたひと時でした。



## デイサービスでお出かけ

荒井にある荒川資料室にお出かけしました。職員のかたが、荒川についての歴史について、分かりやすく、時にはユーモアを交えてお話しください、興味深くお話を聞きました。笑い声も絶えませんでした。



## アリヴァーレでお祭り

ホールでイベントを行いました。たこ焼きやお好み焼き、ソフトクリーム、ケーキ等、ずらりと並びました。ご利用者のかたは、迷いながらも自分で選んで、舌鼓を打ちました。また、お菓子すくいのコーナーでは、笑顔で楽しんでいました。



## ほのぼので七夕

ご利用者がそれぞれに短冊に願いごとを書きました。その後願い事の発表会では「元気で過ごせますように」や「お寿司が食べたい」等思いおもいに発表しました。その後は、七夕の歌の合唱やおやつゼリーを召し上がり、楽しく過ごしました。



## 土湯宝生園

### 祝ケアハウスの敬老の集い

卒寿2名、米寿3名に長寿表彰の式典のあと、祝い膳に舌鼓を打ち、景品付きの土湯宝生園にまつわるクイズ大会等を行いました。一年間を振り返ってのスライドショーでは自分やお友達が写ると歓声が湧き上がり、大変盛り上がりしました。



### 祝デイサービスの敬老会

今年のお祝いでは、表彰状をお渡しし受賞者から一言お言葉を頂戴し、記念撮影。その後、バイキング形式で6種のおやつ、飲み物も4種類用意しました。スライドショーを視聴しながら、笑顔が絶えない敬老会でした。



## 宝寿木村屋

### 調理レク

調理レクでかき氷を作りました。氷にかけるシロップは「いちご」「ブルーハワイ」「練乳」から選んでもらいました。皆様に楽しんでいただくために、経営栄養のかたにも参加できるように工夫しました。皆さん笑顔で涼しさを感じたようでした。



### 祝木村屋の敬老の集い



ユニット毎にささやかではありますが、敬老の集いを行いました。今年には卒寿3名、傘寿2名のかたに表彰が行われました。また、ユニット職員からの色紙の寄せ書きと、職員がご利用者のことを想いながら選んだ、ジュース・お菓子の詰め合わせやタオルセット、座布団等をお一人おひとりにプレゼントいたしました。余興では、職員がギターやウクレレを演奏しながら皆で歌を唄いました。ちょうどこの日に、誕生日のかたがあり「ハッピーバースデー」の合唱もありました。お祝い膳には、天ぷらやマグロのお刺身、栗入りの赤飯と、味だけではなく、目でも楽しめるメニューでした。逆に、ご利用者から感謝をいただき、元気をいただいた時間でした。



## アリヴァーレ・ほのぼの宝生園

### 祝敬老の集い

今年、アリヴァーレ宝生園、ほのぼの宝生園で紀寿2名、白寿1名、卒寿5名、傘寿2名、喜寿2名、古希1名のかたが表彰されました。表彰状とお花の他に、お箸や茶碗等、日常で使うものをプレゼントいたしました。各ユニットで、マグロのお刺身、銀鱈の照り焼き、甘鯛雲丹蒸しなど、秋の味覚が入った普段よりちょっと豪華なお祝い膳に舌鼓を打ちました。これかれも、美味しいものを沢山食べて、元気に過ごして欲しいと思います。



## 施設内研修

オムツ販売会社の担当者に来ていただき、リニューアル品の紹介や、基本的な使用方法を教えてくださいました。介護用品や使い方も日々進化していきますので、それを使う私たちの介護技術も日々進化させ、ご利用者により快適に過ごしていただくためにも大事な研修です。



## 梅シロップ作り

小梅シロップ作りを行いました。一つひとつ爪楊枝で丁寧にヘタをとりました。皆さん流石の手さばきで、逆に職員が教わっていました。毎日観察しながら「もうちょっとだね」と話しています。今年の夏祭りでの楽しみが一つ増えました。



## デイの夏祭り

夏祭りが開催されました。金魚すくいや射的、屋台ではたこ焼きや、出番を待っていた梅シロップのかき氷、写真映えするすいかパンとすいかゼリー。盆踊りでは踊りを披露したり、手拍子をしたりと、楽しい時間を過ごしました。



## 祝敬老の集い

特養の各階で「敬老の集い」を行いました。今年には百一賀1名、百寿1名、卒寿5名、米寿4名、傘寿2名、喜寿2名のかたに、長寿のお祝いの表彰をいたしました。記念品は、ジェルクッションやタオルケットなど、普段使いできるようなものをプレゼント。その後は、お祝い膳に舌鼓を打ちました。



## 祝デイサービスの敬老会

ご利用者への日ごろの感謝を込めて、職員からの余興は「安来節」と「マツケンサンバ」でした。皆さんからは、笑いとお祝いの言葉をいただき、楽しい時間を皆で過ごしました。来年の余興は何をしようかな～。



各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	<a href="https://www.tahokai.jp">https://www.tahokai.jp</a> Mail <a href="mailto:honbu@tahokai.jp">honbu@tahokai.jp</a>

## 企業説明会に参加

社会福祉法人福島県社会福祉協議会主催の「福祉の職場 合同就職説明会」に参加しました。福祉関係法人のみの説明会です。来年4月入職予定の新卒のかたも含め、当法人ブースにお越しください。説明会を通して、福島の福祉業界に興味をもつてくれることを期待しております。

